

6月4日(土)・12日(日)

## 交通安全を啓発

### 大町ひじり学園美術部がシャッターに絵画

大町ひじり学園の美術部員15人が下潟公民分館のシャッターに交通安全を促す絵を描きました。

これは「公民分館付近はスピードを出す人が多い。交通安全を訴える絵を描いてほしい」という地区からの要望を受けて実施したものです。

部長の松永小春さんは「普段は描くことのない大きさと楽しかった。アクリル絵の具の混ぜ方が難しかったが、思った以上にうまくできた」と話されました。



▲移動式排水ポンプ操作訓練の様子

6月17日(金)

## 豪雨の浸水被害軽減へ

### 移動式排水ポンプ操作訓練

移動式排水ポンプの操作訓練を下潟排水機場の調整池で行い、町職員や委託する町建設業協会の社員たちがポンプの操作方法を確認しました。

町では、度重なる豪雨災害を受け、低平地にたまる内水の排水に機動的に対応するため、今回移動式排水ポンプを2基購入しました。

排水ポンプは1基あたり毎秒0.25トンの排水能力があり、これは、25メートルプール1杯分を約20分で空にできる能力になります。

排水ポンプは下潟排水機場に配備し、大雨予想時に浸水被害が想定される地区に移動して設置されます。

6月21日(火)

## 田植えて楽しい!

### 大町ひじり学園5年生田植え体験

大町ひじり学園の5年生が吉村衛さんのほ場で田植えを体験しました。

昔ながらの田植えを体験することで、お米について学び、食への感謝の気持ちを持ってもらうことを目的に、地元農家の協力を得て毎年行われています。

児童たちはJAさがみどり職員から苗の植え方の説明を受け、その後田植え網に沿って田植えに挑戦。ほ場には、児童たちの泥だらけになりながらも楽しそうな声が響いていました。

秋には収穫体験を予定しており、児童たちは鎌を使って手刈りで米の収穫を行います。

